

# Step Up!

加古川商工会議所を活用し、さらなる飛躍に向け「一歩」を踏み出した会員さんを紹介しします。



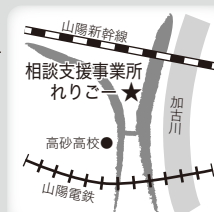
## 合同会社ドキドキわくわく

代表 しまむら 島村 あきひろ 章弘

相談支援事業所 れりごー

高砂市荒井町小松原1-7-6

TEL: 079-490-5921



**Q** (同) ドキドキわくわくの歩みを教えてください。

**A** 相談支援事業所として2021年に開業しました。創業前は障害者支援施設に約18年従事し、管理職としてグループホームの立ち上げなどにも携わりました。現場での仕事を経験する中で個人的な転機を受け、独立を考えました。

相談支援事業所とは、障害者のための「ケアマネージャー」のような存在です。相談者の希望や課題を聞き取り、その人に合った支援へとつなげる役割を担っています。0歳から65歳までの障害者を対象に、働く・住むなどのすべてのライフプランに関わっています。

**Q** 他社と違うこだわりはありますか？

**A** なんととっても事業所名の「ドキドキわくわく」です。障害を持つ方々に、少しでも笑顔で楽しく過ごしてもらえるような、ドキドキ・わくわくする福祉事業所をつくりたいという思いを込めています。

生活のすべてに携わっており、幅広い分野にわたるサービスをつなぐための専門的なアプローチを行っています。

**Q** 商工会議所はどのように活用していますか？

**A** 青年部に加入している知人から「向いているよ」と後押しされ、昨年加入しました。積極的に委員会や事業へ参加し、OBの方々を含めて広いつながりを持つことができました。このつながりは仕事にも活きており、相談者の「給湯

機が壊れた…」 「エアコンの掃除ができない…」といった日常の困りごとに、青年部の会員事業所を紹介させていただいています。顔が見える分安心して任せられるので、とても助かっています。

一般企業の経営を学びながら、こちらからは福祉の知識をお伝えするなど、相互に学び合える関係性も魅力のひとつです。

中でも同級生の集まりである“56年会”は個性の強いメンバーたちですが、加入歴の浅い自分を受け止めてくれる大切な存在です。

人脈をひろげたい方は、勇気を出して一歩飛び込めば、必ず温かく受け止めてくれる仲間がいますよ。

**Q** 今後の目標を教えてください。

**A** 少しでも差別が無くなるように、啓蒙活動にさらに力を入れていきたいと考えています。例えば小学生や未就学児の段階から、障害について「知ってもらおう」機会をつくりたいです。車いすの体験などを通じて福祉の仕事についても知ってもらい、将来の夢として目指してもらえそうな環境をつくっていききたいです。

また、一般企業と障害者の就労をつなぐ事業にも取り組んでいきたいです。人材不足の解消と働く機会の創出を両立するお手伝いができればと考えています。あわせて若手スタッフの育成にも力を注いでいきます。

差別のないよりよい地域を目指して、これからも頑張っまいます！障害福祉に関するお困りごとがありましたら、ぜひご相談ください。